政策番号 10 政策分野 農林業

高齢化や後継者不足、農地や森林の荒廃進行に対処するため、職業として魅力ある農林業を再構築し、その魅力を発信することによりさまざまな担い手を確保する。

基本方針

また、農林業のもつ多面的機能の維持と発揮により、資源循環型産業として社会や環境に貢献するとともに、市民の農林業に対する期待にこたえるため、市民の農林業への参画や農林業を通じた自然とのふれあいの機会を創出していく。

担当局 共管局

政策の評価

1 客観指標評価

指標名 2			32年度	年度	23	24年度評価				
	1915年1	評価値	目標値	度	年度	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	農業粗生産額(百万円)	14,834	18,000	ı	а	14,834	15,438	16,982	90.9%	а
2	林業粗生產額(百万円)	775	950	ı	а	775	589	787	74.8%	b
3	-	-	ı	ı	1	ı	ı	ı	ı	-
4	-	-	ı	ı	1	ı	ı	ı	ı	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	客観指標総合評価									а

2-1 市民生活実感評価

番号	設問		評価					
H 7	政円	年度	23年度	24年度				
1	京都の農林業が魅力を増し,後継者や新たな担い手が育っている。	-	d	d				
2	京都の農林業は,環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して,地域社会に役立っている。	-	С	С				
3	市民農園や森林を守る運動,学校の体験学習などにより,京都の農林業が身近になってきている。	-	d	d				
4	-	-	-	-				
5		1	-	-				
6	-	ı	-	-				
7	-	-	-	-				
8	-	-	-	-				
	市民生活実感調査総合評価							



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

			<u> </u>	-00 · / · O · · > 0	** 	
年度			23年	丰度	24年	丰度
順位 %		順位	%	順位	%	
	1	1	24	7.5%	25	7.0%

3 総合評価

В	政策の目的がかなり達成されている		
間及び都市的 て生産額が増 ・林業粗生産額 の,本市におい	日本全体で農業粗生産額が減少傾向にある中,本市においては,中山 農業地域における農産物の生産拡大等の取組により,前年度と比較し加し,昨年度に引き続きa評価となった。 頂について,日本全体の粗生産額は前年度と比較して若干回復したもの いては,材木市場の流通価格の下落等の市況の影響から,前年度と比較 或少し,b評価となった。	23年度	В
・農林業の地域	・市民の実感については、全体として昨年度と同様の評価となった。 成社会における有用性については「どちらとも言えない」との回答が多数 、、やや否定的な評価となっており、農林業を身近に感じられていない状 しる。		
・農林業の多品力ある農林業の	指標が市民の実感を上回る結果となった。 面的機能などを市民に発信する余地はうかがわれるものの,産業として魅 の構築に向けた取組は概ね進捗している。 総合的に勘案し,この政策の目的は,かなり達成されていると評価する。	年度	_

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照
心來留方	心 束石		23	24	ページ
1001	産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成	-	В	В	123
1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成	-	В	В	125
1003	市民との共汗で築く農林業	-	В	В	127

<今後の方向性>

- ・農林業の魅力創出で多様な担い手が育つ環境の整備に向け、京都らしい農林業の振興や新規就農者の育成、木質ペレットの需要拡大、有害鳥獣による被害解消に向けた抜本的な取組を推進する。
- ・農林業が環境や社会に貢献できるよう、木質ペレットの需要拡大、四季の彩りが感じられる三山の再生を目指した取組など、農林業の多面的機能をまちづくりに活用する。
- ・市民の農林業への参加と理解の促進に向け、農林業に触れる機会の創出や関係団体等との連携による農地・林業の保全、食文化の継承など食育活動との連携を図る。

	政策	Ø.	1	0	農林業							
												
	指標	名	農業粗	生産額	(百万円	<u>ዛ</u>)						
	担当部室 農林振興室				連絡先	2 2	2-33	5 1				
	1 指	標の説明									•	
				に年間の	り粗生産	額						
	2 指	標の意味	 床				3 算出方法	・出典等				_
				境や社会 た農林業			出典:事業担当課	早調べ				
	す指標	八沙西か	正述です	//□炭/作术	· 八件未小	0.27						
	4 数	値										_
		の(平成3	2年度)			平成32年度目標値	†		根拠			
	目標値			14,8	334	18,000	京都市農	農林行政基	本方針の	平成31年	度目標値	
		前回	数値	最新	数値		I	単	鱼年度目標	値		
		21年	F度	22年	F度	任物	数値	京都市農林行		!拠 ○目標達成のた	・めに当年度	達成度
	数値	14,8	334	15,4	138	604百万円増	16,982	達成すべき数 円) と京都市	な値=平成19年 で農林行政基本	F度現況値(1 k方針の目標数	6,474百万 女値(平成31	90.9%
								年度18,000百 に算出	1万円) から名	5年度の目標数	双値を等差的	
		全国順位	数値	目標年次	達成度	中長期目標	!拠					
	数値		数旭 18,000	31年度	建队 及		行政基本方針	1	備考			
		価基準	10,000	31千及	00.0/0	6 基準説明	100年7月11	J		<u> </u> 7 評値	K 年	
			値に対す	「る達成」	度が		ては、社会経済	情勢及]	/ AT II	23	24
	a:80%[以上				び自然環境条件	の影響度が高い	ことか			23	24
		以上~80 以上~60				ら,80%以上を を設定した。	a, 以下20%刻み					
	d: 20%↓ e: 20%ラ	以上〜40년 未満	%未満			- a						a
	C . 20/02	I C I Ind										
	指標	名	林業粗	生産額	(百万P	9)						
	担当	部室	農	農林振興 3			連絡先	2 2	2 - 33	3 5 1		
				× 11 #×2×=			22.1430				ļ	
	市内林美	標の説 ほ とこよっ	男 て得られ	ルた年間の	の粗生産	額						
	2 指	標の意味	±				3 算出方法	. 山 曲 刍	É			
	産業とし	て魅力が	あり,環	境や社会			出典:事業担当課		T			
	もに,市 す指標	「民参画が	推進され	た農林業	の構築状	況を示						
	4 数	値										
	10年後0	<u>に</u> D(平成3:	2年度)	平成23年	度評価値	平成32年度目標値			根拠			
	目標値			77	75	950 京都市農林行政基本方針の平成31年度						
		前回		最新	数値	推移			<u> </u>	値		達成度
		21年		22年		推抄	数値	京都市農林行				
	数值	7	75	58	39	186百万円減	787	達成すべき数値=平成19年度現況値(707百万円)と 京都市農林行政基本方針の目標数値(平成31年度950 74.8				
						九		白万円)から	合年度の目標	票数値を等差的	りに算出	
		全国順位	数値	目標年次	達成度	中 <u>長期目標</u> 根	!拠	-	備考			
数値 950 31年度 62.0%				京都市農林行政基本方針			NIB. (2)					
		価基準				6 基準説明				7 評价	Б結果	
			値に対す	「る達成」	度が		ては、社会経済の影響度が高い				23	24
a:80%以上 b:60%以上~80%未満						ら,80%以上を	条件の影響度が高いことか 上をa,以下20%刻みで基準					
		以上~60g 以上~40g				を設定した。	ンた。 -				а	b
	d:20%以上~40%未満 e:20%未満											